

金沢医科大学名誉教授

小松ソフィア病院 腫瘍内科・漢方内科部長

元 雄 良 治

国際がんサポーターティベケア学会と漢方
明けておめでとうございます。

がんサポーターティベケアに特化した学会として、1990年に発足した国際がんサポーターティベケア学会(MASCC)があり、2015年に発足した日本がんサポーターティベケア学会(JASCC)があります。この度2023年6月22日~24日に奈良でMASCC・JASCCの初めての合同大会が開催されます。会頭は順天堂大学乳腺科の斎藤光江教授です。とくにMASCCの5つの主要テーマの4番目に「When Evidence-based Medicine Meets Traditional Medicine」があり、EBMと伝統医学が取り上げられています。まさに「West meets East」です。JASCCには17の部会があり、漢方部会は2016年に発足し、私が部会長を拝命しています。MASCCはJASCC漢方部会に大きな期待を寄せており、漢方を含む2つのシンポジウム、プレナリーセッションなどがプログラムに含まれています。薬物療法以外に鍼灸も注目されています。MASCC・JASCC合同大会は伝統医学とEBMにおける日本の取り組みを世界に発信する好機と考えています。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。